

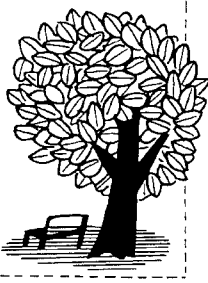


自然ウオッチング



空の青さと木々の緑がさわやかな季節です。ふと見上げた木々の梢にうたう鳥たちのさえずりが聞こえてきます。自然は、わたしたちにつねに季節のうつりかわりを教えてくれます。ふだん何気なく歩いている道でも、少し注意していると、木々が語りかけてくれることに気がきます。そんな木々の語りかけを聞くことができれば、慣れた山々もまたもっと違って見ることができるよう。あなたもちょっと自然に耳をかたむけてみませんか。

自然を大切にしましょう



植物はわたしたちの目を楽しませてくれるほか、植物の葉は空気中の炭酸ガスをとって酸素を出してくれるので、植物が多いということはわたしたちにとって健康上とても大切なことです。

このほか、森林の空気を浴びることで植物から発散される芳香性の物質が人間の神経に作用して良い効果を与えてくれます。日常の緊張した生活から離れて森林のさわやかな環境に身をおくことは、わたしたちにやすらぎを与え、心身の健康回復をもたらしてくれるでしょう。

森林浴の効用



名誉市民 増田誠画伯ご逝去



都留市名誉市民、増田誠画伯が四月九日ご逝去されました。享年六十八歳でした。

増田画伯は、大正九年五月二十四日、旧谷村町下谷、増田清治郎氏の次男として生まれ、昭和十三年、都留中学校卒業後、吉田尋常高等小学校に美術の代用教員として奉職され、昭和二十五年に北海道釧路市に光芸芸社を設立されました。昭和二十八年に一線美術展会員となられ昭和三十三年三月には一線美術展委員となられました。同三十二年七月に渡仏され、人間味溢れる独特の作風を確立されて、

味溢れる独特の作風を確立されて、

昭和三十五年シェルブルール国際展でのグランプリ受賞を始め数々の権威ある賞を受賞されました。

増田画伯は、こよなくふるさと都留市を愛され、市で所蔵する画伯の作品七十余点の内、三十余点の作品をご寄贈してくださいました。

また、本年全国各地での展示会などのため来日されたおり、お忙しい中にもかかわらず、一月十八日から二月四日まで市内にご滞在され、厳しい寒さの中ふるさと都留市の風景を描かれ、「特別展」を開催されて、市民に優れた芸術に接する機会を与えてくださいました。

増田画伯がふるさとに残された大きな遺産は、多くの人々によって永く後世に受け継がれ、心の中に生き続けるものと確信いたします。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

都留市名誉市民章

